

第2期末（2024年12月10日）

基準価額	10,813円
純資産総額	115億円
騰落率	3.3%
分配金	0円

ニッセイ／シュローダー^{好利回りCBファンド}

2022-12

(為替ヘッジあり・限定追加型)

追加型投信／内外／その他資産（転換社債）

運用報告書（全体版）

作成対象期間：2023年12月12日～2024年12月10日

第2期（決算日 2024年12月10日）

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター 0120-762-506

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ／シュローダー好利回りCBファンド2022-12（為替ヘッジあり・限定追加型）」は、このたび第2期の決算を行いました。

当ファンドは、「シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、日本を含む世界のCB（転換社債）を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2023年12月12日～2024年12月10日

基準価額等の推移



第2期首	10,470円	既払分配金	0円
第2期末	10,813円	騰落率(分配金再投資ベース)	3.3%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指標化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

- ・2024年2月初旬から3月中旬にかけて、生成人工知能（A I）関連向けの半導体需要の拡大が好感され世界的に大型株への投資が活発化したことや、欧米主要中央銀行の金融引き締めに慎重な見通しを受けて株式市場が上昇し、CB市場も一定程度追随したこと
- ・2024年9月中旬から当期末にかけて、欧州中央銀行（E C B）の追加利下げや米連邦準備制度理事会（F R B）の大幅な利下げ、中国の景気刺激策などに加えて、米大統領選で勝利したトランプ次期大統領が掲げる規制緩和や減税延長への期待感から米株式市場が上昇し、CB市場も追随したこと

＜下落要因＞

- ・2024年7月末から8月上旬にかけて、日銀の追加利上げ決定を受けて急速に米ドル安円高が進行したことや米雇用統計などの経済指標の悪化により米景気後退への懸念が広がったことなどから、株式市場、CB市場ともに急落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第2期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	68円	0.636%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,707円です。
(投信会社)	(29)	(0.274)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(35)	(0.329)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.003)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	68	0.639	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

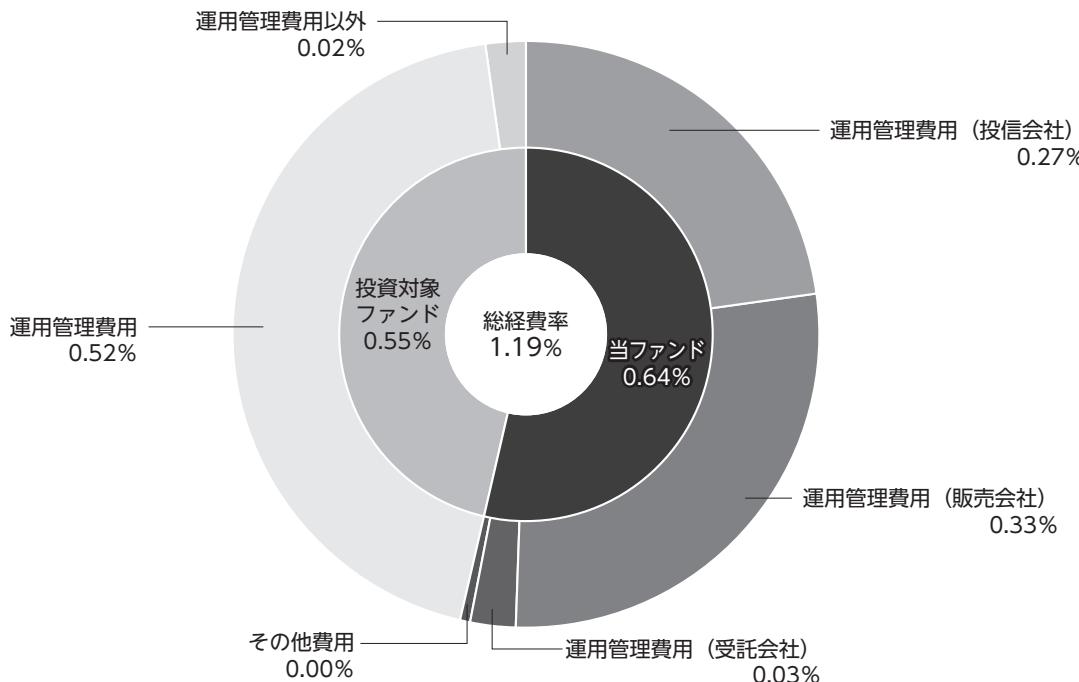
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、投資信託証券の概要に表示しています。

(参考情報)

■総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.19%です。



総経費率 ((1)+(2)+(3))	1.19%
①当ファンドの費用の比率	0.64%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.52%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

グローバルCB市況

グローバルCB市場は期を通じて見ると上昇しました。

期初以降、欧米金融当局による早期利下げ観測の高まりなどから株式市場が上昇しCB市場も追随して上昇しました。2024年2月初旬から3月中旬にかけては、AI関連向けの半導体需要の拡大が好感され世界的に大型株への投資が活発化したことや、欧米主要中央銀行の金融引き締めに慎重な見通しを受けて株式市場が上昇し、CB市場も一定程度追随しました。4月に入ると米利下げ観測の後退や中東情勢の緊迫化などから、株式市場とCB市場はともに下落する展開となりました。6月から7月下旬にかけては、AIへの需要拡大を背景とした半導体関連企業の好業績などから株式市場が上昇し、CB市場も一定程度追随しました。7月中旬にはハイテク株を中心に株式市場が調整し、その後、日銀の追加利上げ決定を受けて急速に米ドル安円高が進行したことや米雇用統計などの経済指標の悪化により米景気後退への懸念が広がったことなどから、株式市場、CB市場ともに急落しました。その後、9月中旬から当期末にかけては、ECBの追加利下げやFRBの大幅な利下げ、中国の景気刺激策などに加えて、米大統領選で勝利したトランプ次期大統領が掲げる規制緩和や減税延長への期待感から米株式市場が上昇し、CB市場も追随しました。

ポートフォリオ

■当ファンド

「シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

■シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）

*シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の資料（現地における当期末基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

主に日本を含む世界のCBに投資を行いました。なお、組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

<業種配分>

当期末時点では、組入比率の高い順に不動産（13.3%）、金融（13.0%）、コミュニケーション・サービス（10.7%）とっています。

<国・地域別配分>

当期末時点では、組入比率の高い順にアメリカ（72.2%）、イギリス（12.3%）、ドイツ（6.5%）とっています。

＜通貨別配分＞

当期末時点では、組入比率の高い順に米ドル（59.4%）、ユーロ（20.3%）、イギリス・ポンド（16.1%）としています。

（注1）業種配分、通貨別配分の比率は対組入債券評価額比、国・地域別配分の比率は対純資産総額比です。

（注2）業種はGICS（世界産業分類基準）による分類ですが、GICS分類が不明な場合はブルームバーグ業種分類（BICSレベル1）を基に分類しています。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

（注3）国・地域はシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の分類（設立地・登記国基準）によるものです。

■ニッセイマネーストックマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことからベンチマークなどを設けていません。

分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期	
	2023年12月12日～2024年12月10日	
当期分配金（税引前）	—	—
対基準価額比率	—	—
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額		835円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

「シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、日本を含む世界のCBを実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

■シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）

F R Bは2024年9月に事前予想を超える0.5%の利下げを決定し、11月と12月にもそれぞれ0.25%の利下げを決定しました。低金利政策のもとで労働市場の弱体化や消費支出の急激な減少、想定を超える景気の悪化が同時に起こった場合、株式市場にも悪影響が波及する可能性があります。また、景気後退が起こった場合、セクターローテーション（景気の局面ごとに有望な業種別銘柄群に投資対象を切り替えていく戦略）や地域ローテーション（景気の局面ごとに有望な地域に投資対象を切り替えていく戦略）が生じる可能性もあり注意が必要です。

当ファンドは、原則としてファンドの信託期間内に償還日を迎えるCBに投資し、償還日まで保有することを基本としています。発行体の信用リスク、流動性などを勘案し、相対的に利回りが高いと判断される銘柄を中心に投資を継続する方針です。

引き続き、主に日本を含む世界のCBに投資を行います。なお、組入外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。

■ニッセイマネーストックマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

	第2期末 2024年12月10日
シュローダー先進国 好利回りCBファンド2022-12 (適格機関投資家専用)	99.7%
ニッセイマネーストック マザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

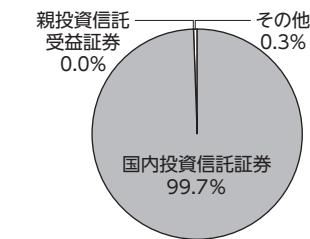
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

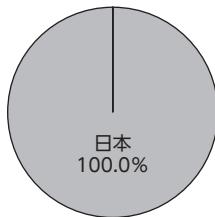
項目	第2期末 2024年12月10日
純資産総額	11,557,170,640円
受益権総口数	10,688,332,465口
1万口当たり基準価額	10,813円

(注) 当期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は2,894,849,456円です。

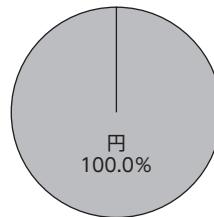
資産別配分



国別配分



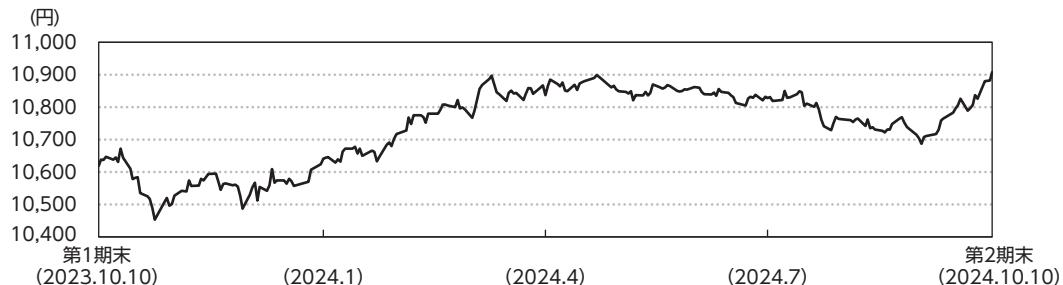
通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年12月10日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12 (適格機関投資家専用) の概要

■税引前分配金再投資基準価額の推移



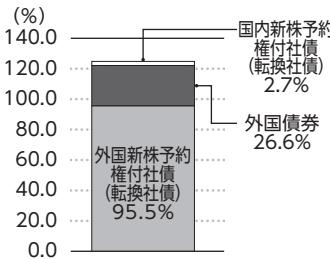
■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
US 0.625% 30/11/27	米ドル	26.6%
CAPITAL&COUNTIES 2% CB	イギリス・ポンド	5.6
OCADO GROUP PLC 0.75%	イギリス・ポンド	5.5
PROSPECT CAP 6.375% CB	米ドル	5.0
DERWENT LONDON 1.5% CB	イギリス・ポンド	5.0
AMS-OSRAM AG 0% CB	ユーロ	4.8
TAG IMMOBILIEN 0.625% CB	ユーロ	3.8
SPOTIFY USA INC 0% CB	米ドル	3.1
IWG GROUP HOLD 0.5% CB	イギリス・ポンド	3.1
TELADOC HEALTH INC 1.25%	米ドル	3.0
組入銘柄数		60

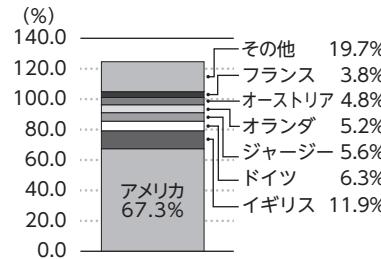
■1万口当たりの費用明細

2023.10.11～2024.10.10	
項目	金額
信託報酬	56円
(投信会社)	(53)
(販売会社)	(0)
(受託会社)	(3)
その他費用	3
(保管費用)	(1)
(監査費用)	(1)
(印刷費用)	(0)
(その他)	(0)
合計	59

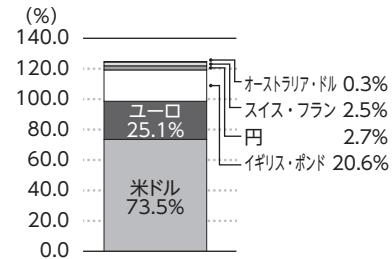
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、投資信託証券の直近の決算期のものであり、前期末の基準価額にあわせて再指標化しています。

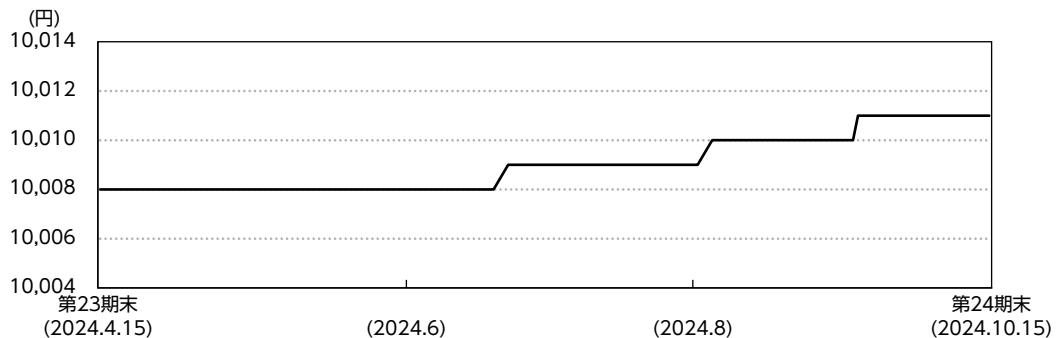
(注2) 1万口当たりの費用明細は、投資信託証券の直近の決算期のものです。費用項目の概要については運用報告書（全体版）の1万口当たりの費用明細をご参照ください。

(注3) 上位銘柄・資産別・国別・通貨別配分は、投資信託証券決算日（2024年10月10日現在）のものであり、比率は投資信託証券の純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分については発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しています。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入資産の明細をご参照ください。

ニッセイマネーストックマザーファンドの概要

■基準価額の推移



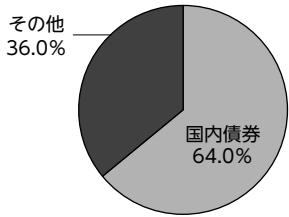
■上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
第146回 共同発行市場公募地方債	円	12.0%
第213回 神奈川県公募公債	円	12.0
令和元年度第1回 鹿児島県公募公債（5年）	円	12.0
第231回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	円	10.0
第147回 共同発行市場公募地方債	円	6.0
第748回 東京都公募公債	円	6.0
第69回 政保地方公共団体金融機構債券	円	6.0
組入銘柄数		7

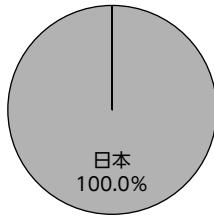
■1万口当たりの費用明細

当期（2024年4月16日～2024年10月15日）における費用はありません。

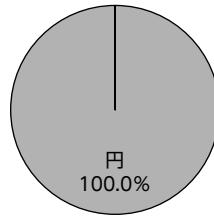
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



（注1） 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

（注2） 上位銘柄・資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2024年10月15日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

（注3） 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)			(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	シュローダー先進国 好利回りCB ファンド2022-12 (適格機関投資家専用)	債券 組入比率	純資産 総額
		税引前 分配金	期中 騰落率				
(設定日) 2022年12月9日	円 10,000	円 —	% —	円 10,000	% —	% —	百万円 7,799
1期(2023年12月11日)	10,470	0	4.7	10,470	99.7	0.0	14,221
2期(2024年12月10日)	10,813	0	3.3	10,813	99.7	0.0	11,557

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額			シュローダー先進国 好利回りCB ファンド2022-12 (適格機関投資家専用)	債券 組入比率
			騰落率		
(期首)2023年12月11日	円 10,470		% —	% 99.7	% 0.0
12月末	10,494		0.2	99.6	0.0
2024年1月末	10,592		1.2	99.9	0.0
2月末	10,731		2.5	99.7	0.0
3月末	10,761		2.8	99.9	0.0
4月末	10,801		3.2	99.9	0.0
5月末	10,770		2.9	99.8	0.0
6月末	10,711		2.3	99.5	0.0
7月末	10,687		2.1	99.8	0.0
8月末	10,637		1.6	100.1	0.0
9月末	10,672		1.9	99.7	0.0
10月末	10,828		3.4	100.0	0.0
11月末	10,814		3.3	99.8	0.0
(期末)2024年12月10日	10,813		3.3	99.7	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2023年12月12日～2024年12月10日

（1）投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
千円	千円	千円	千円	千円
シユローダー先進国好利回りC B ファンド 2022-12 (適格機関投資家専用)	—	—	2,937,556	3,160,890

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーストックマザーファンド	千口	千円	千口	千円

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2023年12月12日～2024年12月10日

当期における利害関係との取引はありません。

組入有価証券明細表

2024年12月10日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
シユローダー先進国好利回りC B ファンド 2022-12 (適格機関投資家専用)	千口 13,469,547	千口 10,531,991	千円 11,527,264	% 99.7
合計	13,469,547	10,531,991	11,527,264	99.7

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) □数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

（2）親投資信託殘高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイマネーストックマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 10

(注) 当期末におけるニッセイマネーストックマザーファンド全体の口数は49,977千口です。

投資信託財産の構成

2024年12月10日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
千円		%
シュローダー先進国好利回りCBファンド 2022-12 (適格機関投資家専用)	11,527,264	99.1
ニッセイマネーストックマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	109,505	0.9
投資信託財産総額	11,636,780	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年12月10日現在)

項目	当期末
(A) 資産	11,636,780,000円
コール・ローン等	109,505,682
シュローダー先進国好利回り CBファンド 2022-12 (適格機関投資家専用) (評価額)	11,527,264,316
ニッセイマネーストック マザーファンド(評価額)	10,002
(B) 負債	79,609,360
未払解約金	40,722,845
未払信託報酬	38,676,930
その他未払費用	209,585
(C) 純資産総額(A-B)	11,557,170,640
元本	10,688,332,465
次期繰越損益金	868,838,175
(D) 受益権総口数	10,688,332,465口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,813円

(注) 期首元本額 13,583,181,921円
 期中追加設定元本額 -円
 期中一部解約元本額 2,894,849,456円

損益の状況

当期 (2023年12月12日～2024年12月10日)

項目	当期
(A) 配当等収益	52,335円
受取利息	58,359
支払利息	△ 6,024
(B) 有価証券売買損益	440,564,896
売買益	505,138,238
売買損	△ 64,573,342
(C) 信託報酬等	△ 82,838,941
(D) 当期損益金(A+B+C)	357,778,290
(E) 前期繰越損益金	535,408,898
(分配準備積立金)	(535,520,660)
(繰越欠損金)	(△ 111,762)
(F) 追加信託差損益金*	△ 24,349,013
(配当等相当額)	(△ 10,458)
(売買損益相当額)	(△ 24,338,555)
(G) 合計(D+E+F)	868,838,175
次期繰越損益金(G)	868,838,175
追加信託差損益金	△ 24,349,013
(配当等相当額)	(△ 10,458)
(売買損益相当額)	(△ 24,338,555)
分配準備積立金	893,187,188

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
- (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
- (注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定した価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	44,051円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	357,622,477円
(c) 信託約款に定める収益調整金	0円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	535,520,660円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	893,187,188円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	835.67円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

お知らせ

■自社の実質保有比率

2024年11月末現在、当ファンドの主要投資対象であるニッセイマネーストックマザーファンドの信託財産において、当社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に99.9%保有しています。当該実質保有分は、当社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）	
信 託 期 間	2022年12月9日～2027年12月10日	
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界のCB（転換社債）を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ／シュローダー好利回りCBファンド 2022-12 (為替ヘッジあり・ 限 定 追 加 型)	「シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）」および「ニッセイマネーストックマザーファンド」
	シュローダー先進国 好利回りCBファンド 2022-12 (適格機関投資家専用)	日本を含む世界のCB（転換社債）
	ニッセイマネーストック マザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品
運 用 方 法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。	

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）
信託期間	2022年12月12日から2027年12月9日まで
運用方針	信託財産の成長とインカム収益の確保をめざして運用を行います。
主要投資対象	先進国（IMF（国際通貨基金）が定義する先進国・地域の全部または一部、その他運用委託先がこれに準ずると判断する国・地域）の転換社債を主な投資対象とします。先進国国債や残存期間の短い債券ならびに短期金融商品等に投資する場合があります。
組入制限	・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回の毎決算時（毎年10月10日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日）に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。なお、信託財産の成長を優先させ、収益分配を行わない場合があります。

シュローダー先進国好利回り CBファンド2022-12 (適格機関投資家専用)

第2期 運用報告書(全体版)

(決算日 2024年10月10日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。さて、「シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12（適格機関投資家専用）」は、2024年10月10日に第2期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3

丸の内トラストタワー本館21階

<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)

Schroders
シュローダー・インベストメント・マネジメント

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込み分配	期騰落率	新株予約権付社債 (転換社債)組入比率	債券組入比率	債券先物比率	純資産額
(設定日) 2022年12月12日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 7,682
1期(2023年10月10日)	10,619	0	6.2	97.0	12.6	—	14,947
2期(2024年10月10日)	10,908	0	2.7	98.2	26.6	—	11,967

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額、税込み分配金は1万口当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	新株予約権付社債 (転換社債)組入比率	債券組入比率	債券先物比率	券率
(期首) 2023年10月10日	円 10,619	% —	% 97.0	% 12.6	% —	% —
10月末	10,517	△1.0	97.5	13.6	—	—
11月末	10,563	△0.5	96.0	15.9	—	—
12月末	10,557	△0.6	95.5	15.8	—	—
2024年1月末	10,662	0.4	98.8	16.5	—	—
2月末	10,808	1.8	97.7	19.2	—	—
3月末	10,844	2.1	96.1	21.5	—	—
4月末	10,890	2.6	98.9	22.4	—	—
5月末	10,865	2.3	97.8	26.4	—	—
6月末	10,811	1.8	97.1	31.0	—	—
7月末	10,793	1.6	93.5	31.3	—	—
8月末	10,748	1.2	92.1	29.6	—	—
9月末	10,789	1.6	95.4	25.8	—	—
(期末) 2024年10月10日	10,908	2.7	98.2	26.6	—	—

(注) 基準価額は1万口当たり。

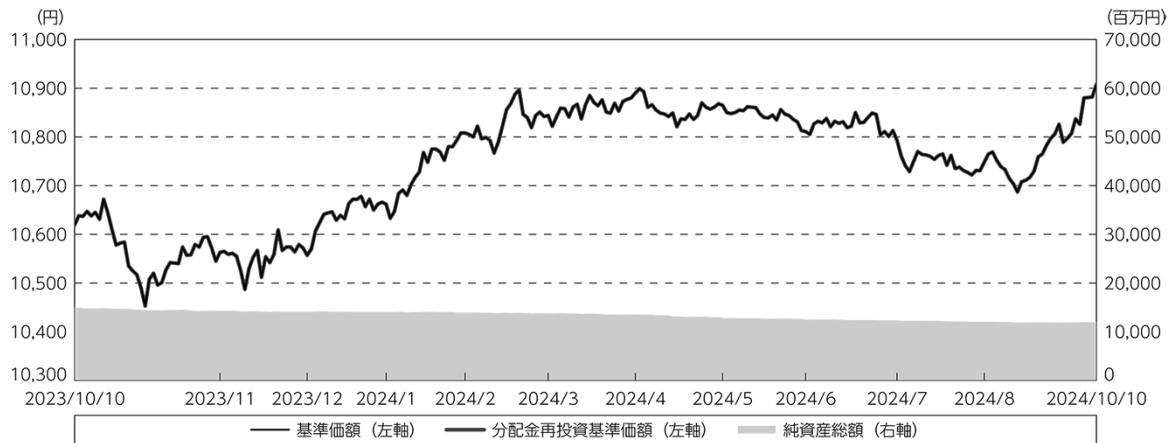
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2023年10月11日～2024年10月10日)

期中の基準価額等の推移



期 首：10,619円

期 末：10,908円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 2.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2023年10月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首10,619円でスタートした基準価額は、10,908円（分配後）で期末を迎え、期首比2.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

当期、C B市場は上昇しました。株式市場の上昇局面において、株式市場に対する追随力をやや欠いた局面もありましたが、株式市場の下落局面において、C B市場は概ね株式市場に対する下値抵抗力を発揮し、期を通しては堅調な動きとなりました。

投資環境

2023年8月以降、米国経済のソフトランディング（軟着陸）と金利が低下するとのシナリオに対する疑問が再び高まり、米国やその他のグローバルの株式市場は下落基調となり、期初となる10月にはイスラエル、パレスチナ情勢の悪化を背景に継続して下落しました。11月には米国および英国の中央銀行が政策金利の据え置きを発表し、利上げ終了観測が高まったことなどを背景に上昇に転じました。2024年1月に入るとやや勢いをなくしたものの、引き続き早期の利下げ観測後退の動きが継続し、引き続き堅調な推移となりました。4月には当面の利下げ観測が無い中、一時的に下落したものの、良好な経済指標を受けて、再び堅調な推移となりました。7月に入るとハイテク株に調整が見られましたが、米連邦準備制度理事会（F R B）が9月にも利下げを開始し、米国景気がソフトランディングに向かうとの期待が高まったことから上昇しましたが、7月末には日本銀行が追加利上げを決定した後、急速に円高・米ドル安が進行したことや、米国雇用統計などの経済指標の悪化が見られ、米国の景気後退懸念が広がったこと等を背景に一時的に急落したものの、インフレの鈍化、米国の利下げ期待から概ね堅調となりました。また9月初めには米国のIT企業を中心に下落局面は見られたものの、F R Bによる0.5%の利下げが市場参加者に好感され、株式市場は再び堅調な推移となり、期を通しては上昇となりました。同期間におけるC B市場は、資本財・サービス、ヘルスケア、インフォメーション・テクノロジーセクターが堅調な動きとなり、上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

当期、ポートフォリオでは、原資産の株式に対する感応度が低いC Bへの投資および満期保有を基本戦略としつつ、C B市場の非効率性を捉え、割安な銘柄に対する投資を実施しました。セクター別では、不動産、金融の組入比率を高位としています（国債を除く）。国別では、米国、英国、ドイツを高位としています。また、格付け別ではB B格、B B B格のC Bを中心に保有しています。

（格付はS & P、フィッチ・レーティングス、ムーディーズのうち上位の格付を採用し、格付が取得できない銘柄についてはシュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社の内部格付けを使用しております。ポートフォリオ全体の格付け（平均格付）については、それらの情報を基に組入銘柄にかかる格付を加重平均したものであり、当該ポートフォリオ自体の信用格付ではありません。以下、同じです。）

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第2期
	2023年10月11日～ 2024年10月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	944

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

F R Bは概ねの予想通り2024年9月に利下げを行いましたが、利下げ幅は一部の市場関係者を驚かせました。F R Bの行動が遅れる傾向にあること、経済減速の速さ、パニック的要素が0.5%という利下げ幅になつたと考えられます。6月頃から見られていたサーム・ルール（米国失業率の3か月移動平均が過去12か月の最低値を0.5%以上回ると、景気後退の始まりを示す）や離職率低下など労働市場減速の前兆を見極めるために時間を要したと考えます。労働市場の減速は通常、景気後退の到来を示しており、一部アナリストはハードランディング（硬着陸）派に傾きました。利下げは株式市場にとって良い兆候ではありません。中国の景気刺激策は、株式市場を押上げる可能性もありますが、セクターや地域のローテーションが生じ株式投資家にプレッシャーを与えると考えられます。このような環境下、流動性を高める資産としてC Bが存在します。C Bは低流動性の環境下でも常に開かれた市場といえ、魅力的なクーポン・安価な株式オプションの提供が可能です。一方で、ハイイールド社債の借換えは停滞傾向です。グローバル金融危機以降、C B市場はほぼ同じ時価総額を維持した一方、ハイイールド債券市場は5倍に拡大しました。今後控えている多くの借換えは高い金利水準で行われ、信用条件も厳しくなっています。一方でC Bは景気後退局面で株式の下落に対する防御性を示すことが要求されますが、投資ユニバース銘柄の大部分はバランス型やディフェンシブ型であることから、当資産クラスは建設的であり、株式市場の下落局面で十分な抵抗力があると考えます。市場では大手ハイテク企業の長期債取引が活発ですが、C Bは発行されていないことから、これら企業の後退時において、C Bのユニバースに対する影響は極めて軽微といえます。事実、最近のITセクターの下落時において、C Bは優れた下値抵抗力を発揮しました。全天候型商品といえるC Bはより防御的な資産クラスとして投資妙味があり、依然売られ過ぎの状況にあると考えます。今後もグローバルの経済動向を見極めつつ、保有銘柄の信用リスク状況を注視したポートフォリオ運営を継続します。

○ 1万口当たりの費用明細

(2023年10月11日～2024年10月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 56	% 0.522	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(53)	(0.495)	・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等 ・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
（販売会社）	(0)	(0.001)	・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
（受託会社）	(3)	(0.026)	
(b) その他の費用	3	0.025	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.008)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.014)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(0)	(0.002)	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
（その他の）	(0)	(0.000)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI:Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合計	59	0.547	
期中の平均基準価額は、10,737円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年10月11日～2024年10月10日)

新株予約権付社債（転換社債）

		買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
外 国	アメリカ	千米ドル	千米ドル	千米ドル	千米ドル
		5,000	4,552	6,100	5,723
	(-)	(0.003)	(10,400)	(10,400)	(10,400)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	—	—	3,900	3,550
	フランス	1,000	894	2,195	1,468
	(2,296)	(2,296)	(2,296)	(2,296)	(2,296)
	オランダ	1,000	929	—	—
	(1,100)	(1,100)	(1,100)	(1,100)	(1,100)
	スペイン	—	—	900	848
	アイルランド	—	—	1,200	1,345
	その他	—	—	—	—
	(2,200)	(2,200)	(2,200)	(2,200)	(2,200)
	イギリス	千英ポンド	千英ポンド	千英ポンド	千英ポンド
		—	—	700	624
	スイス	千スイスフラン	千スイスフラン	千スイスフラン	千スイスフラン
		—	—	1,000	946
	オーストラリア	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル
		—	—	1,000	989
	(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)
	香港	千香港ドル	千香港ドル	千香港ドル	千香港ドル
		—	—	—	—
	(6,000)	(6,000)	(6,000)	(6,000)	(6,000)

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注) ()内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

公社債

			買付額	売付額
外 国	アメリカ	国債証券	千米ドル	千米ドル
			11,762	4,369

(注) 金額は約定代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年10月11日～2024年10月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年10月10日現在)

国内新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	額面金額	当期末	
		千円	千円
MERCARI INC 0% 26/07/14	250,000		241,875
PARK24 0% 25/10/29	80,000		76,039
合計	330,000		317,914
銘柄数 <比率>	2		<2.7%>

(注) 評価額欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。

外国新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	額面金額	当期末	
		評価額	額
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千米ドル	千米ドル	千円
TELADOC HEALTH INC 1.25%	2,750	2,381	355,819
LYFT INC 1.5% CB	750	730	109,144
CHEGG INC CONV 0% CB	750	571	85,443
SEA LTD 0.25% CB	1,750	1,582	236,497
RINGCENTRAL INC 0% CB	750	692	103,513
SOFI TECHNOLOGIES 0% CB	2,000	1,836	274,316
FIVERR INTER 0% CB	500	471	70,461
BLOCK INC 0% CB	475	439	65,629
BLOCK INC 0.25% CB	875	757	113,117
NEXTERA ENERGY 0% CB	2,000	1,872	279,770
SUNRUN INC 0% CB	1,700	1,589	237,487
EXPEDIA GROUP INC 0% CB	1,000	958	143,209
SPOTIFY USA INC 0% CB	2,500	2,495	372,777
AIRBNB INC 0% CB	1,550	1,445	215,953
CABLE ONE INC 0% CB	900	824	123,240
JETBLUE AIRWAYS 0.5% CB	1,000	923	137,980
BLACKSTONE MTG 5.5% CB	1,400	1,344	200,807
LIVONGO HEALTH 0.875%CB	500	485	72,471
SNAP INC 0% CB	1,250	1,071	160,148
TRIPADVISOR 0.25% CB	1,750	1,634	244,171
DIGITALOCEAN 0% CB	1,000	889	132,878

シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12 (適格機関投資家専用)

銘柄		当期末		
		額面金額	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		千米ドル	千米ドル	千円
UNITY SOFTWARE 0% CB		750	672	100,403
MAGNITE INC 0.25% CB		900	838	125,217
NCL CORP 2.5% CB		750	762	113,892
AFFIRM HOLDINGS 0% CB		500	444	66,345
Liberty Media 2.75% CB		750	706	105,505
BW OFFSHORE 2.5% CB		1,800	1,791	267,593
PROSPECT CAP 6.375% CB		4,000	4,011	599,373
SHOPIFY INC 0.125% CB		1,100	1,063	158,927
REPAY HOLDINGS 0% CB		1,250	1,161	173,595
PEGASYSTEMS INC 0.75% CB		650	639	95,562
NUVATIVE INC 0.375% CB		500	489	73,207
小計	額面・金額	40,100	37,577	5,614,462
	銘柄数 <比率>	32	—	<46.9%>
(ヨーロッパ・ドイツ)		千ユーロ	千ユーロ	千円
LEG IMMOBILIEN 0.875%CB		400	394	64,449
HELLOFRESH SE 0.75% CB		600	589	96,309
ZALANDO SE 0.625% CB		900	822	134,374
TAG IMMOBILIEN 0.625% CB		3,000	2,816	460,355
小計	額面・金額	4,900	4,622	755,487
	銘柄数 <比率>	4	—	<6.3%>
(ヨーロッパ・イタリア)		千ユーロ	千ユーロ	千円
NEXI SPA CONV 1.75% CB		600	563	92,178
小計	額面・金額	600	563	92,178
	銘柄数 <比率>	1	—	<0.8%>
(ヨーロッパ・フランス)		千ユーロ	千ユーロ	千円
UBISOFT 2.375% CB		1,000	928	151,709
Nexity SA 0.25% CB		674	668	109,200
WORLDLINE FRANCE 0% CB		1,032	909	148,736
FNAC DARTY 0.25% CB		324	291	47,668
小計	額面・金額	3,031	2,797	457,315
	銘柄数 <比率>	4	—	<3.8%>
(ヨーロッパ・オランダ)		千ユーロ	千ユーロ	千円
BASIC-FIT 1.5% CB		700	664	108,652
JUST EAT TAKE 1.25% CB		1,000	946	154,770
SHOP APOTHEKE EUR 0% CB		1,000	960	157,035
小計	額面・金額	2,700	2,572	420,458
	銘柄数 <比率>	3	—	<3.5%>

シュローダー先進国好利回りCBファンド2022-12 (適格機関投資家専用)

銘柄			当期末		
			額面金額	評価額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・スペイン)			千ユーロ	千ユーロ	千円
CRITERIA CAIXA 0% CB			1,100	1,073	175,488
小計	額面	・ 金額	1,100	1,073	175,488
	銘柄数	<比率>	1	—	<1.5%>
(ユーロ・・・オーストリア)			千ユーロ	千ユーロ	千円
AMS-OSRAM AG 0% CB			3,600	3,510	573,856
小計	額面	・ 金額	3,600	3,510	573,856
	銘柄数	<比率>	1	—	<4.8%>
(ユーロ・・・アイルランド)			千ユーロ	千ユーロ	千円
GLANBIA CO 1.875% CB			1,300	1,354	221,335
小計	額面	・ 金額	1,300	1,354	221,335
	銘柄数	<比率>	1	—	<1.8%>
(ユーロ・・・その他)			千ユーロ	千ユーロ	千円
DELIVERY HERO 1.0% CB			2,000	1,889	308,872
小計	額面	・ 金額	2,000	1,889	308,872
	銘柄数	<比率>	1	—	<2.6%>
ユーロ計	額面	・ 金額	19,231	18,384	3,004,994
	銘柄数	<比率>	16	—	<25.1%>
(イギリス)			千英ポンド	千英ポンド	千円
CAPITAL&COUNTIES 2% CB			3,600	3,438	671,518
PHP FINANCE 2.875% CB			400	394	77,010
TRAINLINE PLC 1.0% CB			500	471	92,107
DERWENT LONDON 1.5% CB			3,100	3,033	592,429
OCADO GROUP PLC 0.75%			4,000	3,395	663,159
IWG GROUP HOLD 0.5% CB			2,000	1,888	368,806
小計	額面	・ 金額	13,600	12,621	2,465,033
	銘柄数	<比率>	6	—	<20.6%>
(スイス)			千スイスフラン	千スイスフラン	千円
DUFRY ONE 0.75% CB			1,200	1,171	203,337
CEMBRA MONEY BANK 0% CB			600	584	101,424
小計	額面	・ 金額	1,800	1,755	304,761
	銘柄数	<比率>	2	—	<2.5%>
(オーストラリア)			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円
FLIGHT CENTRE 1.625% CB			400	409	41,072
小計	額面	・ 金額	400	409	41,072
	銘柄数	<比率>	1	—	<0.3%>
合計	額面	・ 金額	—	—	11,430,324
	銘柄数	<比率>	57	—	<95.5%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) <>内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨てて。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 23,550	千米ドル 21,269	千円 3,177,877	% 26.6	% —	% —	26.6	% —
合計	23,550	21,269	3,177,877	26.6	—	—	26.6	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期末					償還年月日	
	利 率	額面金額	評価額		外貨建金額	邦貨換算金額	
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	%	千米ドル	千米ドル	千円			
国債証券	US 0.625%	30/11/27	0.625	23,550	21,269	3,177,877	2027/11/30
合計						3,177,877	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年10月10日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
新株予約権付社債(転換社債)	千円 11,748,238	% 74.6
公社債	3,177,877	20.2
コール・ローン等、その他	829,184	5.2
投資信託財産総額	15,755,299	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (14,680,832千円) の投資信託財産総額 (15,755,299千円) に対する比率は93.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=149.41円、1ユーロ=163.45円、1英ポンド=195.31円、1スイスフラン=173.57円、1オーストラリアドル=100.40円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年10月10日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	47,192,049,886
コレ・ローン等	85,796,830
公社債（評価額）	14,926,116,803
未収入金	28,833,180,546
未収利息	30,710,417
前払費用	3,616,416
差入委託証拠金	3,312,628,874
(B) 負債	35,224,594,425
未払金	31,878,090,512
未払信託報酬	32,917,562
差入委託証拠金代用有価証券	3,312,628,874
その他未払費用	957,477
(C) 純資産総額（A-B）	11,967,455,461
元本	10,970,947,019
次期繰越損益金	996,508,442
(D) 受益権総口数	10,970,947,019口
1万口当たり基準価額（C/D）	10,908円

[元本増減]

期首元本額	14,076,224,743円
期中追加設定元本額	99,150,543円
期中一部解約元本額	3,204,428,267円
(注) 2024年10月10日現在、先物取引などに係る差入委託証拠金代用有価証券として担保に供している資産は以下の通りです。	
・国債証券	2,991,847,144円

(注) 当ファンドの運用にあたってはシュローダー・インベストメント・マネージメント（スイス）AGに有価証券等の運用の指図に関する権限を委託しております。その費用として、委託者報酬のうち、販売会社へ支払う手数料を除いた額より、運用権限委託契約に定められた報酬額を支払っております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

○損益の状況（2023年10月11日～2024年10月10日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	161,461,463
受取利息	158,940,192
その他収益金	2,527,613
支払利息	△ 6,342
(B) 有価証券売買損益	220,872,339
売買益	2,393,046,996
売買損	△2,172,174,657
(C) 信託報酬等	△ 73,262,457
(D) 当期損益金（A+B+C）	309,071,345
(E) 前期繰越損益金	721,738,955
(F) 追加信託差損益金	△ 34,301,858
(配当等相当額)	(5,748,647)
(売買損益相当額)	(△ 40,050,505)
(G) 計（D+E+F）	996,508,442
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金（G+H）	996,508,442
追加信託差損益金	△ 34,301,858
(配当等相当額)	(5,748,647)
(売買損益相当額)	(△ 40,050,505)
分配準備積立金	1,030,810,300

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（130,522,727円）、費用控除後の有価証券等損益額（178,548,618円）、信託約款に規定する収益調整金（5,748,647円）および分配準備積立金（721,738,955円）より分配対象収益は1,036,558,947円（10,000口当たり944円）ですが、当期に分配した金額はありません。

【受益者の皆様へ】 法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの当期運用状況をご報告申し上げます。

ニッセイマネーストック マザーファンド

運用報告書

第 24 期

(計算期間：2024年4月16日～2024年10月15日)

運用方針

- ①円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ②資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。
・外貨建資産への投資は行いません。



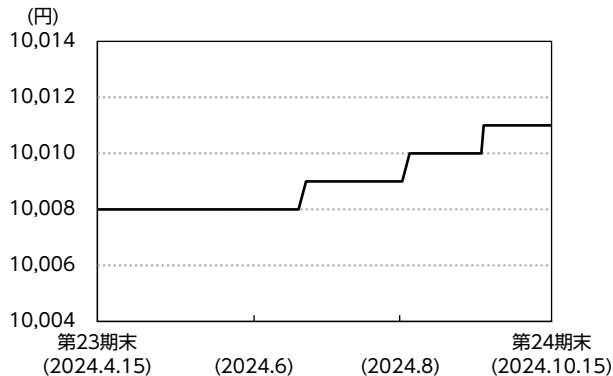
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2024年4月16日～2024年10月15日

基準価額額等の推移



■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中 騰落率	債券 組入比率	純資産 総額			
				円	%	%	百万円
20期 (2022年10月17日)	10,013	0.0	80.2				50
21期 (2023年4月17日)	10,010	△0.0	92.1				50
22期 (2023年10月16日)	10,008	△0.0	94.1				50
23期 (2024年4月15日)	10,008	0.0	74.1				50
24期 (2024年10月15日)	10,011	0.0	64.0				50

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率		
			円	%	%
(期首)2024年4月15日	10,008	—			74.1
4月末	10,008	0.0			74.1
5月末	10,008	0.0			74.0
6月末	10,008	0.0			64.1
7月末	10,009	0.0			64.1
8月末	10,010	0.0			64.0
9月末	10,011	0.0			58.0
(期末)2024年10月15日	10,011	0.0			64.0

(注) 謄落率は期首比です。

ニッセイマネーストックマザーファンド

1万口当たりの費用明細

2024年4月16日～2024年10月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料	－円	－%	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	－	－	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合計	－	－	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,009円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2024年4月16日～2024年10月15日

公社債

国内	地方債証券	買付額	売付額
		千円	千円
	地方債証券	12,032	(11,000)
	特殊債券	—	(6,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2024年4月16日～2024年10月15日

公社債

銘柄	買付		売付	
	金額	千円	銘柄	金額
第146回 共同発行市場公募地方債	6,021	千円	—	—
第147回 共同発行市場公募地方債	3,006	千円	—	—
第748回 東京都公募公債	3,004	千円	—	—

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2024年10月15日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
地方債証券	千円	千円	%	%	%	%	%
	24,000	24,035	48.0	—	—	—	48.0
(24,000)	(24,035)	(48.0)					(48.0)
特殊債券 (除く金融債券)	8,000	8,006	16.0	—	—	—	16.0
(8,000)	(8,006)	(16.0)					(16.0)
合計	32,000	32,042	64.0	—	—	—	64.0
	(32,000)	(32,042)	(64.0)				(64.0)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
地方債証券	第748回 東京都公募公債	0.4560	2025/9/19	3,000	3,003
	第213回 神奈川県公募公債	0.5340	2025/3/19	6,000	6,011
	第146回 共同発行市場公募地方債	0.5530	2025/5/23	6,000	6,013
	第147回 共同発行市場公募地方債	0.5480	2025/6/25	3,000	3,006
	令和元年度第1回 鹿児島県公募公債(5年)	0.0010	2024/10/31	6,000	6,000
	小計	—	—	—	24,035
特殊債券 (除く金融債券)	第231回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.4950	2024/11/29	5,000	5,003
	第69回 政保地方公共団体金融機関債券	0.4140	2025/2/17	3,000	3,003
	小計	—	—	—	8,006
	合計	—	—	—	32,042

投資信託財産の構成

2024年10月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	32,042	64.0
コール・ローン等、その他	18,002	36.0
投資信託財産総額	50,044	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

項目		(2024年10月15日現在) 当期末
(A)資	産	50,044,833円
コ ー ル プ ロ ー ン 等		17,985,238
公 社 債(評価額)		32,042,290
未 収 利 息		14,223
前 払 費 用		3,082
(B)負	債	510
未 払 解 約 金		510
(C)純 資 産 総 額(A - B)		50,044,323
元 本		49,987,080
次 期 繰 越 損 益 金		57,243
(D)受 益 権 総 口 数		49,987,080口
1万口当たり基準価額(C / D)		10,011円

(注1) 期首元本額 50,002,127円
 期中追加設定元本額 -円
 期中一部解約元本額 15,047円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。
 ニッセイマネーストックファンド (適格機関投資家限定)
 49,927,133円
 ニッセイ世界リートオープン (毎月決算型) 9,995円
 ニッセイ世界リートオープン (年2回決算型) 9,995円
 ニッセイ気候変動関連グローバル株式ファンド
 (予想分配金提示型) 9,987円
 ニッセイ気候変動関連グローバル株式ファンド
 (資産成長型) 9,987円
 ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2022-12
 (為替ヘッジあり・限定追加型) 9,989円
 ニッセイ/シュローダー好利回りCBファンド2024-03
 (為替ヘッジあり・限定追加型) 9,994円

損益の状況

項目		当期 (2024年4月16日～2024年10月15日)
(A)配 当 等 収 益		72,043円
受 取 利 息		72,043
(B)有 価 証 券 売 買 損 益		△52,803
売 買 損		△52,803
(C)当 期 損 益 金(A + B)		19,240
(D)前 期 繰 越 損 益 金		38,003
(E)合 計(C + D)		57,243
次 期 繰 越 損 益 金(E)		57,243

(注) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。